

科目名: リーダーシップの実践		科目コード	EB53	
科目主査: 吉澤 郁雄		担当講師: 豊田 貞光、吉澤 郁雄	単位	4
			配当年次	3・4
授業の目的と概要	グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	カマ・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 望ましい <input checked="" type="checkbox"/> 不要	
<p>リーダーシップは、経営者やマネジャーのみに必要とされるものではありません。リーダーシップはあらゆるビジネスパーソンに関わりのあるテーマです。私たちは何らかの組織や人々と係わりを持ちながら個人や組織の目的・目標を達成しようと活動しています。そうしたあらゆる場面で他者をリードしたり、他者にリードされたりしています。本科目では、リーダーシップがどのように身近なテーマであるかを実感した上で、リーダーシップ実践家の持論や研究者の理論の助けを借りて、自身のリーダーシップのコツ(持論)を見出し、どのように磨きをかけるかについて検討します。また、リーダーシップの開発とキャリア形成の関係から自己の成長について考察します。</p>				
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名: 経営学に関する基礎的な知識		
履修の前提となる知識 その他特記事項	テキスト『実践と成長のリーダーシップ』の第3部の研究者の理論および『リーダーシップ・セオリー・ジャングル』に記載されたビジネスリーダーや実践家の「持論」のポイントを事前に押さえておいてください。			
テキスト	『実践と成長のリーダーシップ』金井 壽宏, 産業能率大学, 2015年・『リーダーシップ・セオリー・ジャングル』金井 壽宏, 産業能率大学, 2015年・『リーダーシップ持論ノート』金井 壽宏, 産業能率大学, 2015年			
この科目の到達目標	<p>①リーダーシップの実践に関する基本的な項目を理解でき、リーダーシップやフォロワーシップに関する研究者の理論や実践家の持論について、具体的に説明できる。</p> <p>②リーダーシップがどのように身近なテーマであるかを実感した上で、リーダーシップ実践家の持論や研究者の理論の助けを借りて、自身のリーダーシップのコツ(持論)を見出すことができる。</p>			
成績評価の方法	<p>個人演習は、レポートとして提出していただき、評価対象とします。</p> <p>最終試験は、リーダーシップ理論の理解の程度と自身のリーダーシップの成長にむけて実践家の持論から学ばれたことを問います。</p>			
事後学習	<p>テキストや補助教材、演習教材、自身で作成したノートを振り返りながら、事前にまたスクーリングで学んださまざまなリーダーシップのあり方を参考にして、「リーダーシップの持論」を完成するとともに、持論が実践的なものとなるように、リーダーシップの發揮の仕方、人とのかかわり方、フォロワーとしてのあり方などを実務の場で考え続けていくようにしてください。</p>			
事後学習の参考文献	<p>『指導者の条件』松下 幸之助, PHP研究所, 2006年</p> <p>『サーバントリーダーシップ』グリーンリーフ, 英治出版, 2008年</p> <p>『リーダーシップ・チャレンジ』クーズス/ボスナー, 海と月社, 2014年</p>			
<p>スクーリング受講時に用意するもの</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具</p>				